

**5 時間遠泳で力をつけた園児が話題になって、
水泳人口が急増中！**

**B & G 新潟海洋クラブ
(新潟県)**



声援を受けながら 5 時間海にいることを目指して泳ぎ続けました

今年も、B & G 新潟海洋クラブが主催する恒例の「5 時間遠泳」大会が、8 月 10 日（日）に開催されました。この大会は、ある海難事故をきっかけに、プールだけでなく海でもしっかり泳げなければ意味がないと、同クラブ代表の三沢敏敬さんらが考案したもので、29 年前から毎年行われています。

「大会に向けた遠泳の練習は、例年どおり 7 月 23 日から大会前日の 8 月 9 日まで 18 日間行われましたが、今年は冷夏が続いて晴れた日はわずかに 1 日だけというありさまでした。それでも、毎日 17～18 人の子供たちが入れ替わり立ち替わり練習に訪れ、大会には幼稚園の年長児から成人まで 31 人の参加者が集まりました」

当日は晴天に恵まれましたが会場の海面温度は低く、加えて台風 10 号の影響で沖から冷たい潮が流れ込んでいました。そのため、陸で応援する人たちは夏の日差しをあびるものの、海面に出た参加者は寒さを我慢するという展開になりました。そのため、昨年はほとんどの参加者が 5 時間の遠泳に成功しましたが、今年は 1 時間もしないうちに多くの参加者が身体を震えさせながら岸に戻ってきました。

「昨年の好記録を知っているだけに、応援する人たちは『もっと頑張れ！』と声を上げますが、海の冷たさには勝てません。運営艇に乗る私たちスタッフは、陸の応援に逆らうように『無理をしないで！』と海面で声を掛けて回りました（笑）」

それでも、立ち泳ぎで差し入れのケーキやおにぎりをほおばりながら7人が5時間の遠泳を達成。盛大な拍手で浜に迎えられました。昨年の記録に比べたら少々残念な結果に終わりましたが、プールと違って自然が相手ですから仕方ありません。



今年は冷夏の影響で、少々冷たい海でした



きびしい条件にも負けず7名が5時間遠泳を達成。
陸に戻ると大きな拍手が送られました

しかし、昨年の大会で5時間の遠泳に成功した幼稚園の年長の女の子が、今年になって4種目の泳法をマスターし、個人メドレーができるようになったという、うれしいニュースも入りました。遠泳大会で自信をつけた結果と言えるでしょう。この子の話題が口コミで広がり、水泳教室に参加する子供たちの数が増えてきているようで、三沢さんの指導にも一段と熱が入ってきました。